

## 銭亀古墳出土遺物

東山代町日尾

銭亀古墳は、標高16mの日尾丘陵の東斜面にあった。昭和46年5月工業団地造成に伴い緊急調査で発見され、今は往時の古墳の面影さえ見ることが出来ない。(現在食鳥センターのタンク附近)

発掘の折りに発見された古墳は横穴石室小円墳で直径15mで石室、羨道、周溝から瑪瑙製勾玉、碧玉製管玉、ガラス玉、水晶製切子玉、金銀製の耳環、青銅製の腕輪等の装身具と鉄鏃、鉄刀等の武具その他須恵器の杯、平瓶、線、大型甕、土師器の高台付短額壺等、祭祀に使用された諸容器が多数出土した。

この古墳は6世紀末(約1400年前)に築造されたもので三人の者が埋葬されていたと考えられる。近くに存在する夏崎古墳とは時代は少し後になると思われるが、海人族の首長の墓であったと推定される。

幸い此処から出土した遺物は市歴史民俗資料館に保管されている。

